

ネットで4事業の資金募る

「FAAVO三重」が設立会見

クラウドファンディング活用

きょうHP立ち上げ

インターネットを通じて事業資金を集めるクラウドファンディング「FAAVO三重」の設立会見が五日、県庁であった。六日にホームページを立ち上げ、県内の地域活性化プロジェクト四件の資金を募る。募集事業を県内に限定した地域特化型とし、「サーチフィールド」(東京都渋谷区、小林琢磨社長)が全国二十四エリアで立ち上げている。資金提供に対し、額に応じて地元物産を贈る。

返礼に地元物産



クラウドファンディングを活用して搬送器具「かけモック」を障害者施設に寄贈したいと説明する井谷理事(中央) 県庁で

九十日以内に目標額を達成すれば二割が運営側に入り、達成できなければ出資者に返金し、「オールオアナッシング」(同社)で集める。

同社は運輸倉庫「日硝ハイウエー」(津市、杉本健司社長)に運営を委託し、「口コミ効果がすごい。爆発力が圧倒的に大きい。期間内でもどう集めるか、間延び対策や、進捗状況のレポートの仕方などノウハウがある」と説明する。

四プロジェクトと目標額は、津市NPOサポートセンターIIコミュニケーションを盛り上げる会話活性化カードゲームの開発(目標額二十七万円)▽ココロラII被災時の搬送器具「かけモック」を障害者施設に贈る(八十万円)▽一身体商工振興会II皆で挙げる結婚式「一身体幸せ和婚」(四十

九万円)▽中伊勢温泉郷II松阪肉を産地で食べてもらうメニューづくり(九十万円)。返礼として、カードゲームや防災用品、伊勢木綿、松阪肉などを用意し

ている。
ココロラの井谷三枝理事は二人一組で場所を取らずに搬送できる「かけモック」を障害者施設に贈りたいとアピールした。運営業者は、「事業が世間から見るとどうなんだろうと測る物差しになる。事業をたくさん吸い上げて、世の中に出していきたい」と意気込んでいる。
(奥山隆也)